

わたしの キャリアストーリー

西南学院大学 人間科学部社会福祉学科卒業後、平成29年4月に当法人へ入職。
福岡市南区にある「特別養護老人ホーム シティケア長住」にて、介護員として勤務。



パティシエになりたかった私が、高齢者福祉に

パティシエになりたかったんです(笑)。高校3年生までその夢を持っていて、調理師の専門学校に行こうと思っていたんですが、高校の先生から「大学を受けなさい」と言われて…。で、受かったのが社会福祉学科でした。なので、「ソーシャルワーカーになりたい」とか「福祉の仕事をしたい」とかは少しも思っていませんでした。それが、実習でいろんな施設や事業所を見ているうちに、福祉の仕事に興味を持ち始めました。実習先のスタッフの方達をみていて私もやりたいと思うようになったんです。学科は社会福祉学科ですが、福祉を目指す同級生はあまりいませんでした。そのなかでも児童福祉やソーシャルワーカーを目指す同級生はいましたが、高齢者介護はあまりいませんでした。私が高齢者介護の道に進んだ理由は、祖母が介護サービスを利用して、ケアマネージャーさんやヘルパーさんが祖母にやさしく関わってくれているのを身近に見ていて、私もあんな風になりたいと思ったからです。

不安は先輩や研修体制がサポートしてくれています

シティ・ケアサービスを選んだのは、法人のホームページを見て、研修体制が充実していたからです。介護の専門学校卒の同期と比べると、深く勉強してきているわけではないのでちゃんとやれるか不安でした。研修体制がしっかり整っているので、就職した後からでもしっかり学んでいけると思いました。

現場でも先輩たちが優しく教えてくれています。不安もありましたが、入職時の新人研修で先輩から「どんどん迷惑かけて」「何でも相談して」と言われたので、たくさん相談しています。まだ入職して2ヶ月ですが、昨日できなかったことが今日できるようになった、ということが今の一番の喜びですね。それを先輩もご利用者様も喜んでくれるんです。毎日新しい発見や喜びがあって楽しいです。

つらい事もありました。ご利用者様から「はやくしろ！こいつが仕事遅いから！」と怒鳴られたんです。ショックでした。そんな時も先輩が優しくサポートしてくれました。社会人として、介護人として、また一つ成長できたと思います。



本人だけでなく 家族も支援できる相談員に

まだまだ目の前のことで精一杯ですが、いつかは社会福祉士の資格を活かして生活相談員になりたいです。施設の先輩方や、祖母に関わって頂いているケアマネージャーさんのように、本人だけでなく家族のことも気遣って支援できる相談員になりたいですね。